

# 令和6年度事業計画

## 1. 基本方針

昨年はコロナ禍で制限されてきた人々の移動が解禁され、国際間の往来が一段と活発化してきた年であった。我が国においても、訪日外国人旅行者は一挙に増えて、コロナ前の2019年の入国外国人旅行者数とほぼ同じ水準に達した年となった。訪日外国人旅行者の国内での様々な観光行動は、テレビや新聞のマスコミに幅広く報道され、またSNSを通して日本旅行の魅力が発信されてきた。一般の日本人もこれらの情報に接することにより、インバウンドや外国人旅行への関心が深まってきたといえる。

当財団は、成田国際空港株式会社、株式会社JR東日本びゅうツーリズム&セールス及び八重洲地下街株式会社からの委託を受けて、JR東京駅、成田国際空港第1、第2ターミナル及び八重洲地下街において外国人観光案内所を運営しているが、このようにインバウンドが一挙に回復してきたことから、カウンターへの来訪外国人も比例するかのよう急増した。

当財団は平成6年以来30年間、外国人観光案内所の運営を含め、国内における外国人受入態勢に関する業務を遂行してきたが、その重要性はさらに増してきている。そのため、引き続き外国人観光案内所の情報提供・案内業務の充実は勿論、観光にかかわる地域の情報及び資料収集に努めるとともに、外国人旅行者から要望のある英文地図の発行や国際観光の専門誌として月刊「国際観光情報」も作成することとする。

本年度は、コロナ後の国際観光往来に関して新たなスタートであり、国内における外国人観光客の動向や地域の受入態勢整備状況等が、ますます注目されることと思われる。私共は引き続き、国、JNTO及び成田国際空港株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社JR東日本びゅうツーリズム&セールス及び八重洲地下街株式会社のご協力のもとに、業務を着実に遂行していくこととする。

## 2. 令和6年度事業計画(案)

### (1) 外国人観光案内所の運営事業

私共の外国人観光案内所を訪れる外国人旅行者はコロナ以前に戻り、それに対応すべく勤務体制を整えた。来訪外国人の国籍はアジアを中心に米国、豪州などであり、

入国外客の国籍別の順位と類似している。質問内容については、来訪者の行動範囲が拡大し J R パスの交換、地方の観光スポット、交通アクセス等質問が多様化しており変化している。

本年度も当財団は、成田国際空港第 1 ターミナル到着ロビー、同空港第 2 ターミナル到着ロビー、J R 東京駅丸の内北口の駅たびコンシェルジュ東京、八重洲口の JAPAN RAIL CAFE 及び八重洲地下街(ヤエチカ)により運営を行う。

- 成田国際空港第 1 ターミナル到着ロビー：

外国人向けの案内情報コーナー Visitor Information Center では、来訪者が、コロナ前とほぼ同じ水準で回復している。質問内容は空港からの移動手段などの質問が多い。カウンター訪問者は一か月約 2 万 3, 0 0 0 人となり、増加傾向は続くと思われる。

- 同空港第 2 ターミナル到着ロビー：

第 2 ターミナル到着ロビーは日本の表玄関であり、質問内容も空港から都内や観光地への移動方法や宿泊等の質問が多い。カウンター訪問者は一か月約 1 万 7, 0 0 0 人となりコロナ前の 5 割程度だが増加傾向は続くと思われる。

- 東京駅丸の内北口の J R 東日本駅たびコンシェルジュ東京内

全国に向けて旅行する起点となっており、J R パスの交換方法、J R パスの旅程作成や地方の観光地情報、購入チケットの種類及び宿泊、両替などのサービスを提供する。一か月約 7, 0 0 0 人となり、この傾向は続くと思われる。

- 東京駅八重洲口の JAPAN RAIL CAFE (八重洲)

丸の内北口とほぼ同じ傾向であるが、一か月約 4 0 0 人から 4, 0 0 0 人となり増加傾向は続くと思われる。

- ヤエチカ (八重洲地下街)

地下街の各施設や飲食店などの情報提供・案内がメインである。1 日約 2 0 0 人が訪れる。

## (2) その他事業

### ①出版事業

- 「Japan Map」日本全国地図1万部の作成  
「Tokyo & Vicinity」東京近郊地図の作成
- 「国際観光情報」等の作成配布  
国際観光の専門誌として引き続き作成配布を行う。またUNWTOやJNTO及びインバウンド関連の情報収集も行う。

### ②国際観光に関連する調査研究事業

国連世界観光機関（UNWTO）、国際航空運送協会（IATA）及び世界旅行ツーリズム協議会（WTTC）の最新情報の収集と翻訳を行う。